

2 環境を守るわたしたち P.114~123

☆京都市の環境を守る取り組みについてまとめましょう。

◎京都市の鴨川がよごれてしまった原因について

多くの家や工場は使い終わった水を、そのまま(川)に流していた。

(高度経済成長)の時代で、工場の生産が増え、消費が大きくなり、国民の(生活)の質が向上したが、(環境はかい)などの問題が起きた。



そこで…
(下水道)の整備や(工業排水)の規制をした。

友禅あらいの職人も、染物をあらった水は(下水道)に流している。

◎美しさを取りもどした環境を守るために

川の水がきれいになったが、他にこまったことが起こるように…。

<こまったことを2つ以上書きましょう。>

- ・ごみを残して帰ってしまう。
- ・後始末をせずにバーベキューをする。
- ・騒音を出す。
- ・川ぞいにバイクや自転車をとめたままにする。

鴨川の環境を安心・安全でかいてきなものとして次世代に引き継ぐため、せいそう活動などの他、府や市では(京都府鴨川条例)をつくった。

※ 京都市では、伝統ある市のイメージをそこなわないように、建物の高さやデザイン、屋外の広告を制限する(新景観政策)を進めている。
→栃木県でもこのような取り組みを行っています！

6年 組 ()

◎環境をもっとよくするために

京都市や市民が取り組んでいる活動についてまとめましょう。

<取り組みを2つ以上書きましょう。>

- ・食用油を回収している。
- ・食用油をディーゼル燃料に加工している。
- ・緑のカーテンを利用している。
- ・加工したディーゼル燃料をバスやごみ収集車に利用している。

世界中で地球温暖化が進まないように様々な取り組みが行われている。

→(二酸化炭素)の排出を減らす！

※ (京都議定書)

地球温暖化によって、大気や海水温が少しずつ上がり、環境に大きなえいきょうがあるとされている。その地球温暖化を防ぐために、1997年に京都市で開かれた国際会議にてまとめられた文章。2015年には、新たな国際的な取り決めである、(パリ協定)が定められた。

◎ふり返り

<環境を守るために何をすべきか、考えをまとめましょう。>

<考えたこと・分かったこと>